

◆日根野聖子 選

小西昭夫先生は、毎年五月に松山市内の「キャメルK」 というギャラリーで、「遊五人展」というアート作品展を開催されています。言葉以外の表現で遊んでみようと、二〇〇八年に俳人五人で始めて今年で十六年になります。年々、参加者が増え、今回は五十代～七十代の十二名によって、アクリル画や油彩、パソコン画、立体作品など個性的な作品七十点が展示されました。

会期中には恒例の朗読会があり、小西先生の俳句とコメントの作品「チンピラX」が披露されました。

「チンピラX」

小西昭夫

正月のトイレの花を換えにけり

正しいお正月の迎え方であります。

初電話それが間違い電話とは

今年の初電話はどなたからだったのでしょうか。

初竈とはスイッチを入れること

一年の最初の煮炊きが初竈であります。

ローソクは全然足りない誕生日

ぼくの誕生日は一月十七日で、かの山口百恵さんと一緒であります。いつの間にか七十歳になってしまいました。

ケセラセラレットイットビー鳴雪忌

鳴雪忌は内藤鳴雪の忌日で二月二十日であります。鳴雪はきれいな俳号ですが、音読みしますと「なるゆき」です。「成り行きまかせ」を俳号にしたのであります。

それでよしそれでよろしい鳴雪忌

つまりは鳴雪忌でありますので。

ふつつかな堇を踏んでしまいけり

すみれは生命力の強い花でありますので、思わぬところに咲いていたりします。

三寒のあとの四温や卵焼き

俳句は五七五ですが、この句の命は下五にあります。

春雨じゃ濡れて行こうが行くまいが

傘がない時に呟いてください。

磯巾着ひらく男も化粧せよ

クマノミになった気分どうぞ。昔流行ったピーコック革命であります。

何匹を宿しおるのか孕猫

恋猫のその後を知っていますか。

蛙に目貸した覚えはなかりしが

春は眠くてたまりません。

啓蟄の日の横穴を抜け出せり

布団の穴を出たということなのでしょう。

寺町を行くとき亀に鳴かれけり

本当のような気分になります。

浮いてくる亀を沈めて鳴かせけり

ひょっとしたら、動物虐待かもしれません。

その話おそらく本当四月馬鹿

四月一日はややこしい日であります。

今日だけは嘘をつかない四月馬鹿

とっておきの嘘であります。

牡丹には遅く芍薬には早し

「花の命は短くて苦しき事のみ多かりき」と書いたのは林芙美子だったでしょうか。

これまでの苦勞が泡に根切虫

こんなに悔しいことはありません。

標的を泣かせてしまう水鉄砲

恋はいつでも初舞台なのです。

鬼に金棒わたくしに棒アイス

ぼくに金棒は重すぎます。

この瀏の主の鯰よ浮いてこい

この句の浮いてこいは浮き人形ではありません。

点点点点点点蟻蟻蟻

まるで、ファールになった気分です。

子規の絵のバナナと虚子の句のバナナ

こんなことも俳句になります。

無人島の天子にもこの暑さかな

夏目漱石に「無人島の天子とならば涼しかろ」という句があります。

のど仏動かして飲む生ビール

仏さまも暑さは苦手のようにです。

広島忌この水飲んでいいですか

「水が欲しい」と言って死んでいった大勢の人がいます。

収賄になるかもしれぬ桃一個

利害関係のある人から贈り物をもらってしまいました。

沈んでる卵はどこにおでん鍋

おでんはいつも大鍋で作ります。

チンピラは入れ歯を忘れキャメルK

お終いです。これが今年の自画像であります。

